

【グループ目標】

5 領域 (1)健康・生活 (2)運動・感覚 (3)人間関係・社会性 (4)言語・コミュニケーション (5)認知・行動

- ①今後の生活や進路を見据えて生きる力や自己の力をスキルアップし、社会性を身につける。(1)(3)(4)
- ②目的意識をもって活動に参加し、集中力と体力の向上を図る。(1)(2)
- ③自己受容を高めていき、得意なことは伸ばすとともに、苦手なことに対して、自分で努力する力と周りに働きかけながらサポートを受ける力を身につける。(3)(4)(5)

【目標の具現化】

- ① 数年後には社会へ出る子ども達に、将来を意識して自己の力（ソーシャルスキルやビジネスマナー）を身に付けることのできる活動を設定する。また、仲間とコミュニケーションを図る活動（グループディスカッション等）を通して社会性を育んでいく。
- ② 子ども達一人一人が、目的意識をもって学習やその他の活動に取り組むことができるよう、目的を明確に示し、決められた時間内、集中して有意義に取り組むことができるようにする。その都度、子ども達が自身の成長や課題を把握できるようにフィードバックする。また定期的に、戸外や屋内で体を動かすことで、体幹の機能を高め、基礎体力の向上を図る。
- ③ 子どもたちの発達段階に応じて自己受容を高めていく。その中で、得意なことは今後に活かせるよう、子どもたちの自己肯定感を高める支援を続ける。また、苦手なことに対して自分で努力する大切さを伝えていくとともに、子どもたちが、周りの人に自身の困難さを伝え、サポートを受けていくスキルを身に付けることができる支援を行う。子どもたち一人一人の個性を尊重し、今後活躍していける環境を整えるインクルージョン教育を推進していく。

【活動日課・活動内容】

平日	学校休業日	長期休業日
事業所到着～1時間 宿題+課題学習 16:45～17:00 ・スキルアップ ・子ども主体活動 ・選択活動 (3つをローテーション) 17:00～17:30 選択活動	10:00～朝の会 10:05～学習 11:00～活動① 12:00～昼食 13:00～活動② 14:00～活動③ (中学生:学習) 14:30～選択活動	・事業所外学習を定期的に実施し、公共でのマナーや様々な体験活動を通し、成長を促す。 ・学習+行事を通して社会性や主体性を養う活動を選定し、成長を促す。 ・職場見学や職業講話を定期的に実施し、職業観・勤労観を育む。 ・インクルージョンの視点から、地域交流等のかかわりを取り入れる。

定期試験対策・受験対策を必要に応じて設定する。(筆記試験に向けた学習、面接練習、作文対策等)

【指導員の評価の観点】

- ☐ 学校や家庭での背景を予測して、個及びその日の状態に合った声掛けができていくか。
- ☐ 活動の目的を明確にして、活動の計画や実行にあたり、活動後に振り返ることができているか。
- ☐ 各個人に必要な支援ができていくか。又、それを家庭と共有できているか。
- ☐ 子ども達の良さや成長を、グループ全体で共有し、仲間同士で高め合う環境をつくっているか。